

令和元年度第2回協議会において、活動体として「森の会議」が一定の成果が得られていると評価されたところであるが、約6年を経過したことを踏まえ、これまでの活動を振り返って、今後の方向性を考える。

## 1. 森の会議について

### ①趣旨・目的

- 1) 「尼崎 21 世紀の森構想」を推進するにあたり、県民一人一人が「こんなことがしたい」というアイデアを持ち寄り、皆の協力のもとアイデアを実現させていくことを目的とした会議である。
- 2) 「尼崎 21 世紀の森づくり協議会」は、森構想の取組の方向性の検討、総括を実施する「協議体」と位置づけているのに対し、「森の会議」は、誰でも自由に参加できる「活動体」と位置づけている。

### ②開催概要

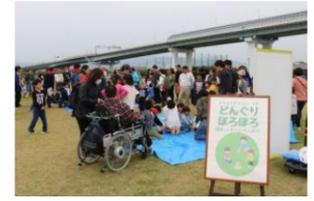
- 1) 開催日時：毎月第1土曜日 10：00～12：00
- 2) 開催場所：尼崎の森中央緑地パークセンター会議室
- 3) 開催事務局：県立尼崎の森中央緑地指定管理者（（公財）兵庫県園芸・公園協会）
- 4) 参加者：原則自由参加（事前申込なし）
- 5) 内容： ※コーディネーター（株）地域環境計画研究所 若狭健作氏
  - 出席者自己紹介
  - 森構想エリアでのイベント・話題等紹介、情報交換
  - 参加者からの協力してほしい事案、アイデアが欲しい事案の提案
- 6) 参加者 30～40 名程度/回

### ③会議の内容や実施イベントなど（p2 参照）

### ④森の会議（活動体）の特徴（p3 参照）

### ⑤森の会議参加者のコメント（p4 参照）

③森の会議の取組(会議の内容や実施イベントなど)

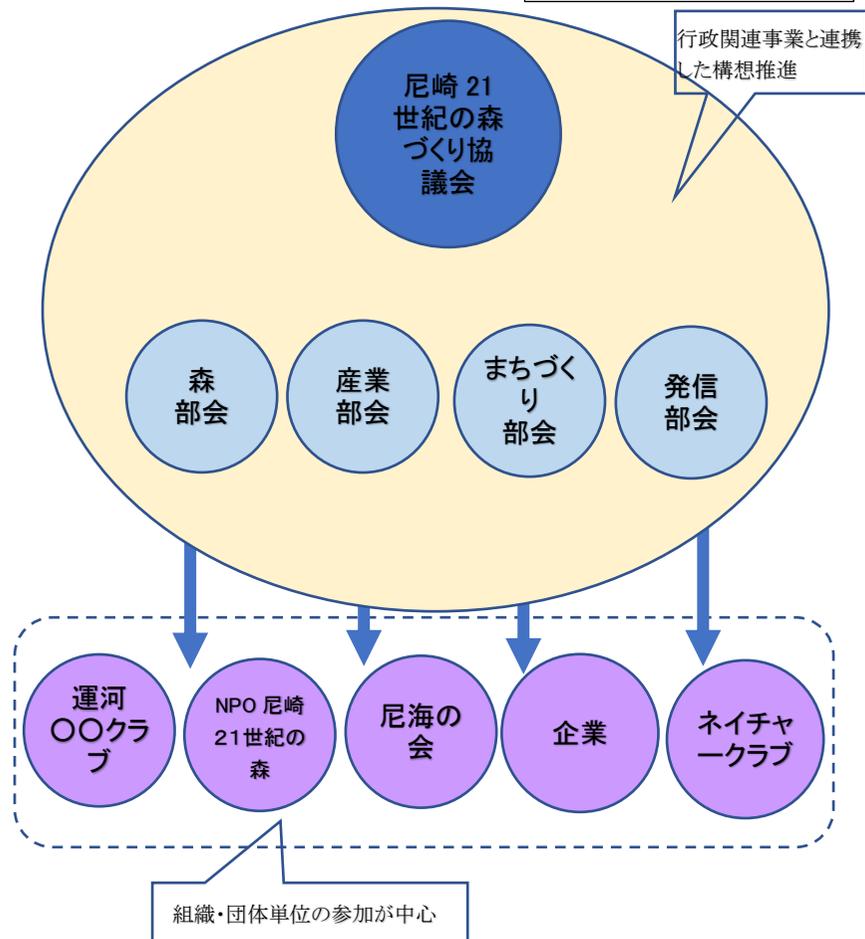
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
中央緑地	尼崎の森 中央緑地開園前	尼崎の森中央緑地開園 ・パークセンターオープン ・大芝生広場整備完了					・かやぶき民家 オープン	
会議の内容	<p>○既存メンバーや地元住民との顔合わせ ○タンDEM自転車、パドルボートを使った森へのアクセスのアイデアを検討 →やりたいことを互いに応援し合う場であることを確認</p> 	<p>【テーマ】 ○アクセス向上 ○記録(空撮)、広報 ○来園者マナーの向上 ○防火・防災 ○健康内容づくり</p> 	<p>【テーマ】 ○中央緑地の使い方 ・森の漫画喫茶 ・編集ピザ、サンドイッチ ・間伐材を燃料にしたロケットストーブ ・風づくり WS など</p> 	<p>【テーマ】 ○森のピクニックに代わるイベントの検討 ○様々なテーマの企画を提案 ・国際ヨガイベント ・500色の色を見つける ・防災キャンプ ・風あげ大会 ・天体観測 など</p> 	<p>【テーマ】 ○尼崎21世紀の森構想推進に向けた企画の検討など</p> 	<p>【テーマ】 ○棧橋の活用プロジェクト + 尼崎の魚を食べる</p> 	<p>【テーマ】 ○茅葺民家の活用 ・春の森ごもり ・正月の催し ・茅葺民家友の会のメンバーが会議に参加(情報交換) など</p> 	
実施イベント	<p>■オープン前のパークセンターの見学 ・尼崎の森中央緑地を活動拠点として利用する際のルールアイデアをイメージ</p> 	<p>■森のピクニック ・タンDEM自転車試乗会 ・森の飛行機部 ・森 DE ヨガ ・ドッグマナー講座 ・苗木の里親植樹会</p> 	<p>■森のピクニック ・タンDEM自転車試乗会 ・森の飛行機部 ・森 DE ヨガ ・苗木の里親植樹会 ■尼崎ぱーちー ・尼崎の工場、商店等の企画 ■風あげ</p> 	<p>■尼崎モリンピック ・森の会議メンバーで間伐材によるメダルづくり</p>  	<p>■尼崎モリンピック ■あなたと何かがヨガする日 ■森の自由研究フェス</p>  	<p>■尼崎モリンピック ■あなたと何かがヨガする日 ■森の自由研究フェス ■エピソード評価</p>  	<p>■尼崎モリンピック ■あなたと何かがヨガする日 ■森の自由研究フェス ■エピソード評価</p>  	
備考	<p>【会場】 ・阪神尼崎駅前緑の相談所 ・大庄公民館 ・キャナルベース ・スポーツの森</p> 	<p>【他の活動団体との合同イベント】 ○ヤギと行く森の冒険 ・環境オープンカレッジ ・アマフォレストの会</p> 	<p>【尼崎ぱーちー後の意見】 ・名物になる夏フェスをやりたい ・鉄工団地の「尼みつ」をPRしたい</p> 	<p>【正月の催しの実施】 ・七草ががゆ ・どんぐりクッキー ・セイタカアワダチソウ茶 ・オリーブ塩漬</p> 	<p>【春の森ごもり実施】 ・1泊2日で実施 ・提案されたイベントを試行 【巣箱設置】 場所: 元浜緑地</p> 	<p>【茅葺民家の活用】 →茅葺民家を森の会議の会場に活用</p>  <p>【構想エリアのPR: サマセミ参加】 場所: 尼崎双生高校</p>	<p>【運河の活用PR】 キャナルフライデーのPRに協力</p>  <p>【構想エリアのPR: サマセミ参加】 場所: 琴ノ浦高校</p>	

④森の会議(活動体)の特徴 森の会議設置前後の比較

部会制による尼崎 21 世紀の森づくり協議会(森の会議設置前)

- 1.テーマ: 森、産業、まちづくり、情報の 4 つテーマでの森づくりを推進
- 2.参画の体制: NPO、市民活動団体、企業など組織的な体制
- 3.情報受発信: 部会単位

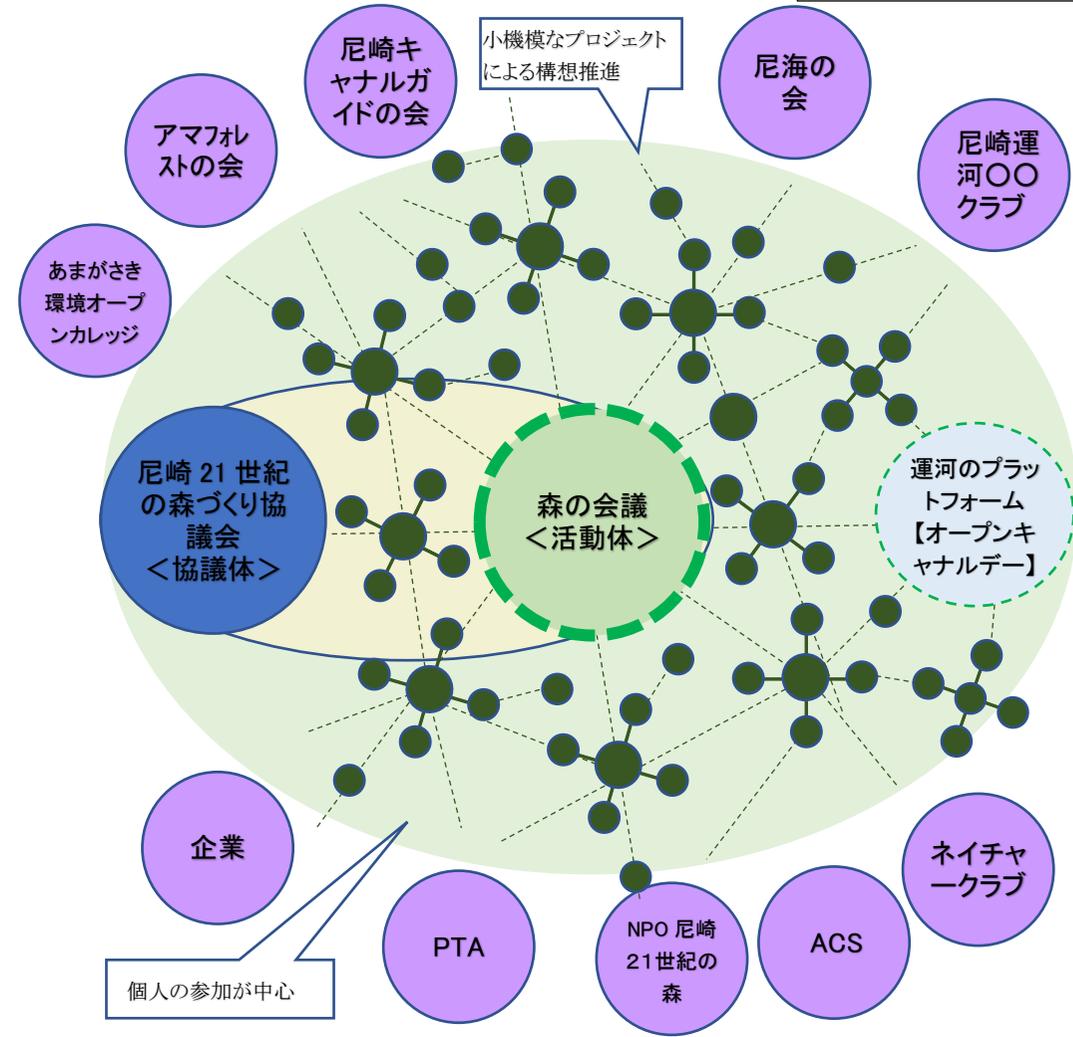
● 部会長及び副部会長、部会員によって構成



活動体と協議体を分離した尼崎 21 世紀の森づくり協議会(森の会議設置後)

- 1.テーマ: 多様なテーマで森づくりを推進
- 2.参画の体制: 個人のゆるやかなネットワークによる体制
- 3.情報受発信: 多数の個人(SNS の活用)

● 個人  
 - - - - - ゆるやかなネットワーク



⑤森の会議参加者のコメント

私が「森の会議」に行く理由

2020年9月5日(土)の森の会議終了後、撮影させてもらいました。  
この日の企画は「そろそろ蜜の話を聞こう」(尼崎鉄工団地協同組合)



この日は事務局やコーディネーターを入れて総勢30人で森の会議が開催されました。

## ⑥これからの森の会議について

入り口はいくつあってもいい。

SNSで興味をもったり、友達にさそわれたり、構想当初からかかわっていたり、「森の会議」への入り口はさまざまです。だから私たちは、会議の後に社会実験という名のもと、ちょっとだけお楽しみを用意しています。食べ物、スポーツ、音楽、読書、昆虫や草花、季節の行事などテーマは毎回さまざま。

森の中ではゆるやかにつながる。

そんな企画を楽しみにして毎月20人以上が集まる森の会議は、いつも少しずつ顔ぶれが変わります。出入り自由。何年ぶりにまた顔を出してくれる人もいます。団体ではないので、出席率を気にすることも、厳しい上下関係ありません。それでもお互いの企画やイベントを助けあうような「ゆるやかな連帯」がここでは育まれています。

森の奥にはそれぞれ違った景色が。

会議の参加者は、何か大きなイベントを企画したい人もいれば、植樹に興味を持つ人や、海で何かをしようとする人、農業に関心がある人、誰かにお世話を焼くのが上手な人など様々です。森への入り口が違うように、その後に歩む道も人それぞれでいいはず。森とのかかわりを自分たちで見つけられるようなきっかけとなる場を目指しています。

まずはやってみよう。学びは遊びから。

「モリンピック」「自由研究フェス」「あなヨガ」などの大きな定番イベントも、元は森の会議で「まずは小さくやってみよう」とはじまったお楽しみ企画。やってみたら楽しかった。今度はもっと人を誘ってみよう。と広がる発想は子どもの頃の遊びを思い起こさせます。これからも森の会議では「よく遊び、よく学ぶ。」を合言葉に、21世紀の森構想エリアの「日常以上イベント未満」な使い方に挑戦します。

## 2. 森構想エリアで活動する団体

名称	尼崎運河〇〇クラブ		
活動地域	「水質浄化施設」・ 「北堀キャナルベース」	会員	21名
目的・趣旨	<p>尼崎の海や運河での水質浄化活動を中心としたまちづくり活動を行うことによって、尼崎市内の国道43号以南に森と水と人が共生する環境創造のまちを目指す「尼崎21世紀の森づくり」及び尼崎運河内に水と緑と賑わいを目指す「21世紀の運河再生プロジェクト」を支援していくことを目的とする。</p>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質浄化施設や北堀キャナルベース等を活用した活動（以下「プロジェクト」という。）の支援</li> <li>・参加団体間の調整や研究成果の報告、情報交換</li> <li>・対外的な広報</li> <li>・その他の活動</li> </ul>		
活動実施概要（令和元年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎運河での活動を支援 参加団体間の調整、行政等との連絡や尼崎港管理事務所への水質浄化施設・キャナルベース占用許可申請を行う。</li> <li>・オープンキャナルデイの開催 毎月第4日曜日に尼崎北堀運河水質浄化施設において、県民の方々が気軽に活動に参加できるよう、事前申込不要のイベントを実施。 人工干潟づくりや、人工干潟の環境調査、水質浄化の取組説明会、SUPなどを実施。</li> </ul> <p>&lt;参加団体と水質浄化施設での活動&gt;</p> <p>尼海の会……中学生・大学関係者による二枚貝育成（水質浄化施設）          尼崎キャナルガイドの会……運河の案内          Amagasaki Canal Sup……運河でSUP/パドルボード          ネイチャークラブ……中学生による運河の水質浄化など          NPO 尼崎21世紀の森……うんぱく、キャナルフライデーなど          あまんじゅ……尼崎ネイチャークラブOGによる環境保全活動          NPO 人と自然とまちづくりと……小中学生向環境体験学習          徳島大学……尼崎運河の水質調査、浄化活動など</p>		

名称	尼海の会		
活動地域	「水質浄化施設」 ・「北堀キャナルベース」	構成 団体	ネイチャークラブ 徳島大学先端技術科学教育学部上月研究室
目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺のにぎわいの創出</li> <li>・水環境の保全</li> <li>・海の環境保全意識の醸成</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎港内におけるワカメの育成</li> <li>・運河周辺での謎解きゲーム</li> <li>・港内の過剰な栄養塩の回収するために二枚貝を育成</li> <li>・二枚貝の成長をモニタリング（中学生への環境教育の実施）</li> </ul>		
活動実施概要（令和元年度）	実施日： 令和元年 9 月 16 日	活動場所：尼崎港内人工干潟 参加者：18 人（主に地元中学生） 実施内容：二枚貝育成開始 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工干潟への二枚貝（アサリ）の入ったカゴの設置</li> <li>・尼崎港内の環境に関するレクチャー</li> </ul>	
	実施日： 令和元年 11 月 4 日	活動場所：尼崎港内人工干潟 参加者：21 人（主に地元中学生） 実施内容：二枚貝育成状況確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成アサリの生残等の状況確認 (50 個体のうち、生残したのは 2 個体のみ。)</li> </ul>	
	実施日： 令和元年 1 月 26 日	活動場所：尼崎港内人工干潟 参加者：40 人（主に地元中学生） 実施内容：二枚貝育成状況確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成アサリの生残等の状況確認 (11/4 に確認した 2 個体は生残できていなかった。)</li> </ul>	

名称	尼崎チャンネルガイドの会		
活動地域	尼崎市	会員	13名
目的・趣旨	尼崎運河・臨海地域の魅力を多くの皆様に知っていただき、尼崎市の活性化に寄与する		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運河案内</li> <li>・尼崎チャンネルガイド講座支援</li> <li>・チャンネルウォークの実施</li> <li>・チャンネルベース訪問小学生サポート</li> </ul>		
活動実施概要(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンネルガイド養成講座支援</li> <li>・チャンネルウォーク <ul style="list-style-type: none"> <li>10/19 尼崎センタープール前駅発 参加 16名</li> <li>12/8 出屋敷駅発 参加 28名</li> </ul> </li> <li>・環境体験事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学4年生チャンネルベース環境学習サポート</li> </ul> </li> </ul>		

名称	ACS (Amagasaki Canal Sup)		
活動地域	尼崎運河 (北堀運河)	会員	4名
目的・趣旨	<p>尼崎市の臨海部及び、尼崎運河で、市民と行政の参画と協働で100年かけて、森を中心にした街づくりをする</p> <p>SUP (Stand Up Paddle) 安定感抜群のパドルボード/SUP に乗って水面をのんびり漕ぎ進む「水上さんぽ」。大人から子供まで楽しめる今注目のアクティビティ！</p>		
活動内容	<p>兵庫県の尼崎運河 (北堀運河) に完成した水質浄化施設併設栈橋 (Kitabori Canal Base) を有効活用し、パドルボード利用した SUP 体験。</p>		
活動実施概要 (令和元年度)	<p>年間18回程度、尼崎運河で SUP (Stand Up Puddle) の体験会を開催。楽しみながら運河域の水質や環境について関心を持ってもらうことをめざしている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>運河におけるSUP体験会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キャナルベースでの講習会のようす</p> </div> </div>		

名称	ネイチャークラブ		
活動地域	兵庫県にある尼崎運河・尼崎港や徳島県上勝町等	構成団体	ネイチャークラブ 徳島大学先端技術科学教育学部上月研究室
目的・趣旨	尼崎市立成良中学校ではじまった、環境や自然への関心を高め、自分達の生きる生活環境を改善しようとする力を育てること		
活動内容	命の循環をテーマとした環境教育を行っている <ul style="list-style-type: none"> <li>・野鳥の巣箱製作や観察活動</li> <li>・地域美化や緑化活動</li> <li>・尼崎の海や運河の水質浄化活動</li> </ul>		
活動実施概要(令和元年度)	活動回数：35回	参加者：507人	
<p>&lt;主な活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察 巣箱観察 炭焼き</li> <li>・尼崎運河水質浄化活動</li> <li>・尼崎 21 世紀の森づくり活動 巣箱観察</li> <li>・SDGs 学習会</li> <li>・花とみどりのフェスタ 木育・積み木ワークショップ</li> <li>・森づくり活動（下草刈り等） G20 発表練習</li> <li>・作物栽培学習会 G20 発表練習</li> <li>・尼崎運河水質浄化活動</li> <li>・尼崎運河緑化活動 ジュンカン畑の土壌改良</li> <li>・尼崎運河緑化活動 ヒマワリ苗植え付け</li> <li>・尼崎産業フェア 積み木作品展示</li> <li>・ネイチャークラフトワークショップ</li> <li>・環境教育学会活動発表</li> <li>・尼崎運河の環境調査</li> <li>・尼崎の海の環境美化活動</li> <li>・農業体験 稲刈り 茅葺民家生活体験</li> <li>・尼崎の海での人工干潟づくり</li> <li>・尼崎 21 世紀の森づくり活動 巣箱観察</li> <li>・G20 発表に向けて打合せ 練習日程調整</li> </ul> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>			

名称	NPO あまがさき環境オープンカレッジ		
活動地域	尼崎市內	会員	13名
目的・趣旨	市民、企業、学校及び行政等様々な主体の協働により、環境を中心とした開かれた学びの場として情報提供業務や相談業務を行うとともに、講座やイベントを企画・実施し、また他の団体等が企画する講座やイベントの実施を支援することで、環境の保護・保全のために行動する市民の育成と各主体相互の連携に寄与することを目的とする		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習バスツアー</li> <li>・尼崎の森中央緑地のイベントにブース出展</li> </ul>		
活動実施概要(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎市内のバスツアー 尼崎の森中央緑地、武庫川渡船ほか</li> <li>・森の自由研究フェス 「チリメンモンスターをさがせ！」ブース出展</li> <li>・郷土種グリーンフェスタ 「葉っぱでアート！」ブース出展</li> </ul>		

名称	NPO 尼崎 21 世紀の森		
活動地域	森構想エリア	会員	10名
目的・趣旨	<p>尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため、人々の暮らしにゆとりとうるおいをもたらす水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型のまちづくりをめざす「尼崎 21 世紀の森構想」の実現に向け、地域の市民、各種団体、企業等と協力・連携しながら、環境の回復・創造、にぎわいの創出や森を活かした産業活性化支援の取組を行うとともに、その取組を尼崎から広く発信し、もって、地域の活性化に寄与し、ベイエリアにおける先導的な都市再生のモデルを創造することを目的とする</p>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尼崎 21 世紀の森に関連する森づくり、まちづくり、産業活性化の取組の企画・運営・実施</li> <li>・ 尼崎 21 世紀の森に関連する調査・研究と情報の管理</li> <li>・ 尼崎 21 世紀の森推進に向けた普及・啓発</li> <li>・ 尼崎 21 世紀の森に関連する他団体等の取組の支援</li> </ul>		
活動実施概要(令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープンチャンネルデー (SUP)</li> <li>・ パドルボートによる運河のゴミ回収</li> <li>・ チャンネルフライデー</li> <li>・ Aa 発行：第 16 号、17 号</li> <li>・ エコキッズメッセ開催</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>		

名称	アマフォレストの会		
活動地域	尼崎の森中央緑地	会員	62名
目的・趣旨	「地域産の種子を集め、苗木から地域で育てて森に」という構想のもと、平成17年から森づくりの基礎知識や技術を学んできた市民の会として、森づくりや環境学習等を行うことを目的とする		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尼崎の森中央緑地における森づくり活動</li> <li>・ 環境体験学習・港内の過剰な栄養塩の回収するために二枚貝を育成</li> <li>・ 令和元年度森づくり体験講座（全5回シリーズ） など</li> </ul>		
活動実施概要（令和元年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尼崎の森中央緑地における森づくり活動               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指定管理者主催森づくり定例活動 … 活動回数:21回、延べ参加者数:454人</li> <li>2) 団体向け定例活動 … 11回、189人</li> <li>3) アマフォレストの会エリア活動 … 20回、259人</li> </ol> </li> <li>・ 環境体験学習               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小学生3年生 … 回数:19回、総児童数:1277人</li> <li>2) 幼稚園 … 回数:3回、総園児数:171人</li> <li>3) 高等学校 … 実施回数:2回、総生徒数:75人</li> </ol> </li> <li>・ 令和元年度森づくり体験講座（全5回シリーズ）</li> <li>・ 尼崎信用金庫森づくり活動（あましん植樹祭、除草活動など） 活動回数:3回アマフォレストの会総参加者数:49人</li> <li>・ 令和元年度ファミリークラブ植樹会（植樹指導） 11/9実施、参加者:35家族、アマフォレストの会:8人</li> <li>・ 令和元年度苗木里親植樹会（植樹指導） 4/7（日）1回実施、総参加者数:21人、アマフォレストの会:8人</li> <li>・ イベント出展               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 春の花と緑のフェスティバル（4/29）… 13人</li> <li>2) ロハスピクニック … 1日目（5/11）:9人、2日目（5/12）:10人</li> <li>3) 森の文化祭（5/25）… 7人</li> <li>4) あなたと何かがヨガする日（6/16）… 4人</li> <li>5) 森の自由研究フェスタ（7/21）… 6人</li> <li>6) エコ工作（オープンカレッジ主催）（8/25）… 5人</li> <li>7) 森のフェスタ（10/20）… 12人</li> </ol> </li> <li>・ アマフォレストの会研修会               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 泉佐野丘陵緑地（1/15）… 参加者数:19人</li> <li>2) かやぶき民家学習会（10/14）… 参加者数:9人</li> </ol> </li> </ul>		